

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	氷見市における災害に強い安全・安心なまちづくりを図るアクセス道路整備												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	氷見市												
計画の目標	能越自動車道氷見インターチェンジと、救急医療施設及び防災拠点施設を結ぶアクセス道路を整備することにより、両者間の移動時間の短縮、緊急輸送路の確保を図り、災害に強い安全・安心なまちづくりを推進する。 災害時、地元住民が安全に避難できるよう、国道415号から避難施設に指定されている小中学校へのアクセス道路や、中山間地域から国道160号へのアクセス道路を整備する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,231	A	3,231	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	能越自動車道氷見インターチェンジと、救急医療施設及び防災拠点施設を結ぶアクセス道路等の整備率の向上を目指す。 アクセス道路整備率 (計画路線の整備済延長)/(計画路線延長:3.84km)	0%	35%	44%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	氷見市	直接	氷見市	市町村道	改築	(他) 鞍川霊峰線 鞍川	バイパス整備 L=0.91km	氷見市						1,115	-	
	A01-002	道路	一般	氷見市	直接	氷見市	市町村道	改築	(他) 鞍川沖布線 鞍川	拡幅整備 L=0.43km	氷見市							114	-
	A01-003	道路	一般	氷見市	直接	氷見市	市町村道	改築	(他) 下久津呂深原線 下久津呂～深原	拡幅整備 L=1.05km	氷見市							262	-
	A01-004	道路	一般	氷見市	直接	氷見市	市町村道	改築	(他) 上庄中央線 泉～ 柿谷	バイパス整備 L=0.21km	氷見市							97	-
	A01-005	道路	一般	氷見市	直接	氷見市	市町村道	改築	(他) 沖布5号線 鞍川	拡幅整備 L=0.45km	氷見市							145	-
	A01-006	道路	一般	氷見市	直接	氷見市	市町村道	改築	(他) 幸町11号線 幸 町	拡幅整備 L=0.14km	氷見市							42	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-007	道路	一般	氷見市	直接	氷見市	市町村道	改築	(他)環状南線 大浦~ 布施	バイパス整備 L=0.65km	氷見市						1,400	-	
	A01-008	道路	一般	氷見市	直接	氷見市	市町村道	新設	(他)中村上田線 中村	バイパス整備 L=0.31km	氷見市						56	-	
												小計						3,231	
												合計						3,231	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 氷見市	事後評価の実施時期 令和6年9月
	公表の方法 氷見市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	市道鞍川霊峰線をはじめとした道路ネットワークの強化を推進し、安心・安全で快適に通行できる道路整備を行った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
能越自動車や幹線道路と救急医療施設及び防災拠点施設を結ぶアクセス道路を整備することにより、両者間の移動時間の短縮、緊急輸送路の確保を図り、災害に強い安全・安心なまちづくりを推進する。 災害時、地元住民が安全に避難できるよう、国道415号から避難施設に指定されている小中学校へのアクセス道路や国道160号や幹線道路から子育て支援施設等宅地開発の進む地域へのアクセス道路を整備する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	44%
	最終実績値	44%